

能樂「世界無形文化遺産」

第30回

長野能



元気づくり支援金

令和6年

3月17日(日)

12時開場

午後1時開演

ホクト文化ホール中ホール

(長野県県民文化会館中ホール)
〒380-0928 長野県長野市若里1-1-3

撮影：能 (花筐・融) 前島吉裕
撮影：狂言 (名取川) 政川慎治

定期公演

能 花 筐
山階彌右衛門

狂言 名取川
野村太一郎

能 融
観世喜正

写真は狂言「名取川」のイメージです。
当日の出演者ではありません。



スマートフォン・タブレット画面に能の場面を説明いたします

◆主催 長野県能楽連盟

◆後援 長野県教育委員会 長野県芸術文化協会 長野市教育委員会 長野市文化芸術協議会 信濃毎日新聞社

番組組

(開演午後一時)

解説 林本 大

連吟

早津 光義
雪入 勘次
仁井田 邦通
石川 雄二
村石 武志
海野 義元

能

子方 武田 智継
ツレ 武田 祥照
シテ 山階 彌右衛門

花

筐

ワキ 大日方 寛

大鼓 亀井 広忠
小鼓 飯田 清一
笛 竹市 学

後見 関根 祥丸
観世 三郎太
坂口 貴信
地謡 関川 光男
武田 崇史
林本 大
児玉 清木 千俊
松本 久広
岡 幸二郎

狂言

名取川

シテ 野村 太一郎
アト 岡 聡史
後見 中村 修一

休憩 二十分

仕舞

高砂 関根 祥丸
桜川 武田 友志
善知鳥 松本 千俊
山本 麗晃
清水 義也
角 幸二郎
坂井 音晴

松風 観世 三郎太

能

大鼓 亀井 広忠
小鼓 飯田 清一
太鼓 林 雄一郎
笛 竹市 学

シテ 観世 喜正

ワキ 則久 英志

酌之舞 中村 修一

後見 林本 大
山階 彌右衛門
永島 充
地謡 依田 明子
武田 崇史
祥照 坂井 音晴
坂口 久広
貴信 友志

附祝言

(終演予定 十七時頃)

上演曲解説

能 花 筐 (はながたみ)

越前国の味真野にいた男大迹の皇子が、帝位継承のため都へ上られたので、使者(ワキツレ)は、照日の前(前シテ)に手紙と花筐を届ける。照日の前は、皇子の手紙と花筐を胸に、君をなつかしみつつ、さびしく自分の里へ帰って行く(中入)。皇子は即位して継体天皇となり、大和の国の玉穂を都とする。ある日、帝(子方)は、廷臣(ワキ)を従えて紅葉狩に出かける。一方、物狂いとなった照日の前(後シテ)は、侍女(ツレ)とともに、皇子のあとを追って都への道を急いでいた。雁に導かれ、近江の湖を渡り、二人は都へやってくる。帝の行列の前へ出て制止され、侍女の持った花筐を廷臣に打ち落とされた照日の前は、帝の花筐を打ち落とす非を難じ、帝に逢えないことを嘆き泣き伏す。そして、帝の仰せを受けて、照日の前は、武帝と季夫人との愛の物語を謡いつつ狂い舞う。帝は、花筐を御覧になり、手もとで使っていたものと確認して、照日の前をまた、従来どおり召し使うとのこと言葉を下し、照日の前は、玉穂の都へお供をする。

(能楽ハンドブックより引用)

狂言 名取川 (なとりがわ)

比叡山で受戒をした僧は、「希代坊」と「不肖坊」の二つの名前をつけてもらい、物覚えが悪いので両袖に墨で書いてもらう。さらに忘れないようにと様々な謡に名を織り込んで、口ずさみながら歩いていくうちに、大きな川に行き当たると、川を渡る途中、深みにはまってしまった僧が岸に這い上がる、袖に書かれていたはずの大切な名前が消えている！ 僧があわてて笠で流れた名前をすくっているところへ在所の者が通りかかると、僧が流れた名前をすくっているところへナンセンスでとぼけたおかしみを持つ演目。流れた名前をすくう場面で舞う川づくしの小舞がひとつの見どころです。

能 融 (とふる)

東国から上京して来た僧(ワキ)が、六条河原院を見物している。仲秋の名月である。そこへ、一人の老翁(前シテ)が田子を荷って現れる。老翁は、旅僧に尋ねられて、河原院こそ融の大臣が陸奥の塩釜の景を移したところであるとのべる。さらに老翁は、融の大臣は難波の御津の浜から毎日潮を汲んで運ばせ、塩を焼かせたりして楽しんでいられたのだが、大臣が世を去られた後は誰もあとを継ぐ人がなく、ここは荒れはててしまっていると語り続ける。老翁は、旅僧に、あたりの名所を教えたあと、田子を荷って汀に出て潮を汲むが、そのうちに、老翁の姿は見えなくなってしまう。

(中入)で清水寺門前の者(アイ)が旅僧の求めに応じて、融の大臣のことなどを語ったのち、大臣への供養をすすめる。

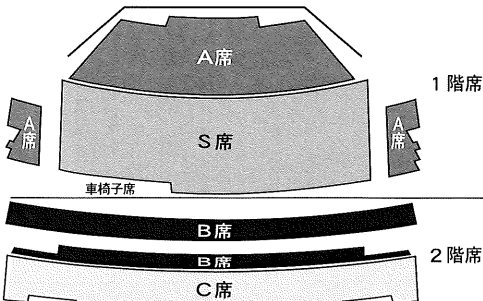
旅僧が寝ていると、融の大臣(後シテ)が貴公子の姿で現れ、忘れたい河原院で、名月の下、舞(早舞)を舞う。そして、夜の明けるころ、月の都へと去っていく。

(能楽ハンドブックより引用)

能面展

能は複合芸術で、役者の演技だけでなく能楽堂の建築、装束、面、楽器など色々な要素があります。そのなかで一般の方に一番目につくのは能装束と能面と言われています。この機会に能面を十分ご鑑賞ください。

ホクト文化ホール 中ホール(座席表)



観能券料

- S 指定席 7,000円
- A 指定席 6,000円
- B 指定席 4,000円
- C 指定席 3,000円
- 車 椅子席 6,000円 (介助者1名含む)

お申し込み・お問い合わせ先

~~~~~

ご購入窓口  
ホクト文化ホール事務所

お問合せ・電話購入先  
長野能実行委員会 電話 080-1330-6807

1月17日(水)午前10時 発売開始 お申し込みはお早目に！